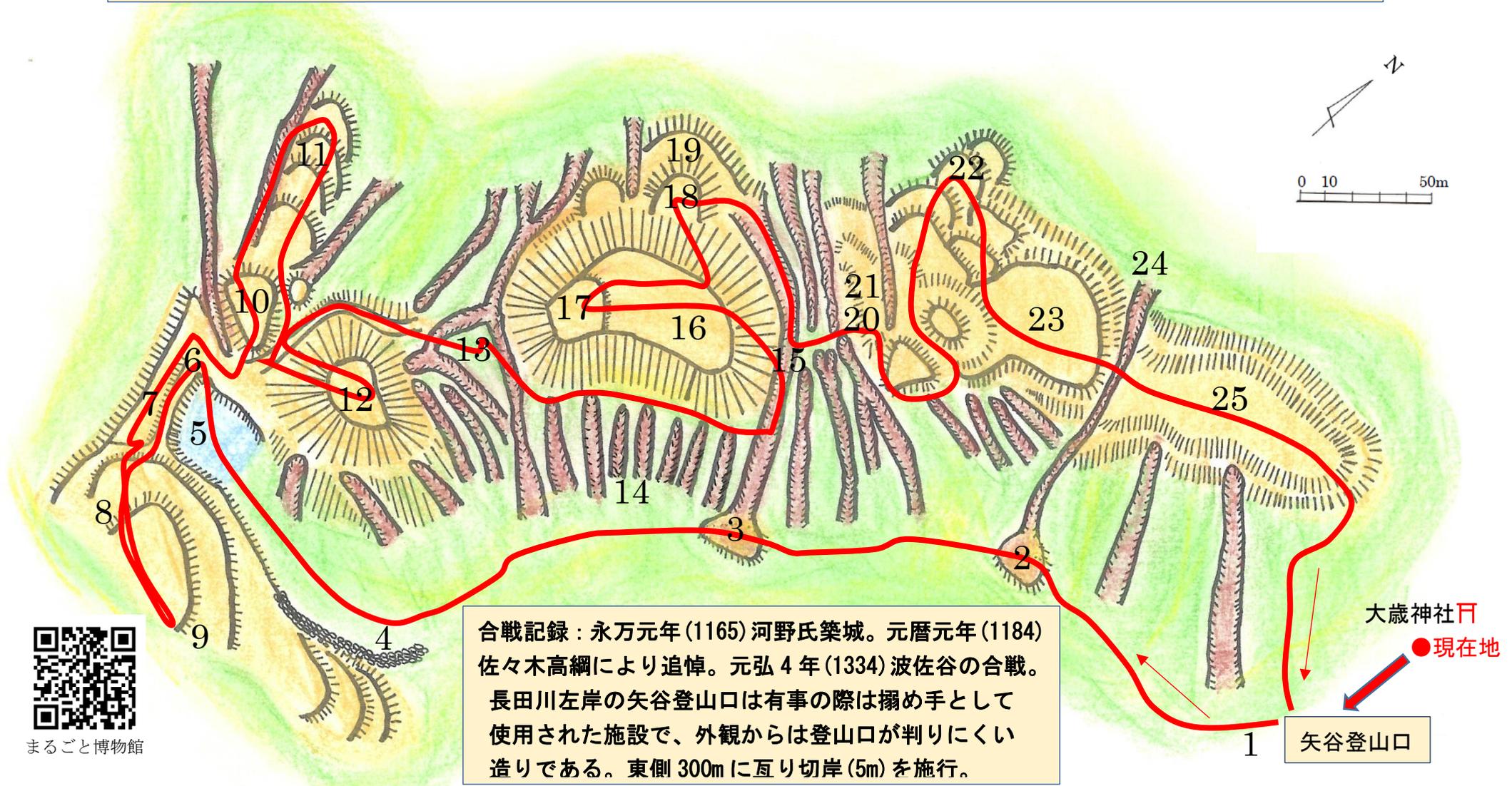


市指定史跡 波佐一本松城

1 矢谷登山口⇒2 竪堀⇒3 礫石置き場⇒4 水撥ね施設⇒5 水堀⇒6 武者走り⇒7 犬走り⇒8 武者溜り⇒9 礫石置き場⇒10 横矢掛⇒11 段切⇒12 郭⇒13 空堀⇒14 竪畝型阻塞⇒15 空堀⇒16 主郭⇒17 礫石⇒18 腰郭⇒19 帯郭⇒20 畝堀⇒21 土橋⇒22 段切⇒23 郭⇒24 竪堀⇒25 郭(武者溜り)⇒下山。風水を取り入れた防禦を主体とした連郭式城郭で、水攻めの出来る城郭。



合戦記録：永万元年(1165)河野氏築城。元暦元年(1184)佐々木高綱により追悼。元弘4年(1334)波佐谷の合戦。長田川左岸の矢谷登山口は有事の際は搦め手として使用された施設で、外観からは登山口が判りにくい造りである。東側300mに互り切岸(5m)を施行。



大歳神社
●現在地

1 矢谷登山口

や だ に と ざ ん ぐ ち

1

矢谷登山口

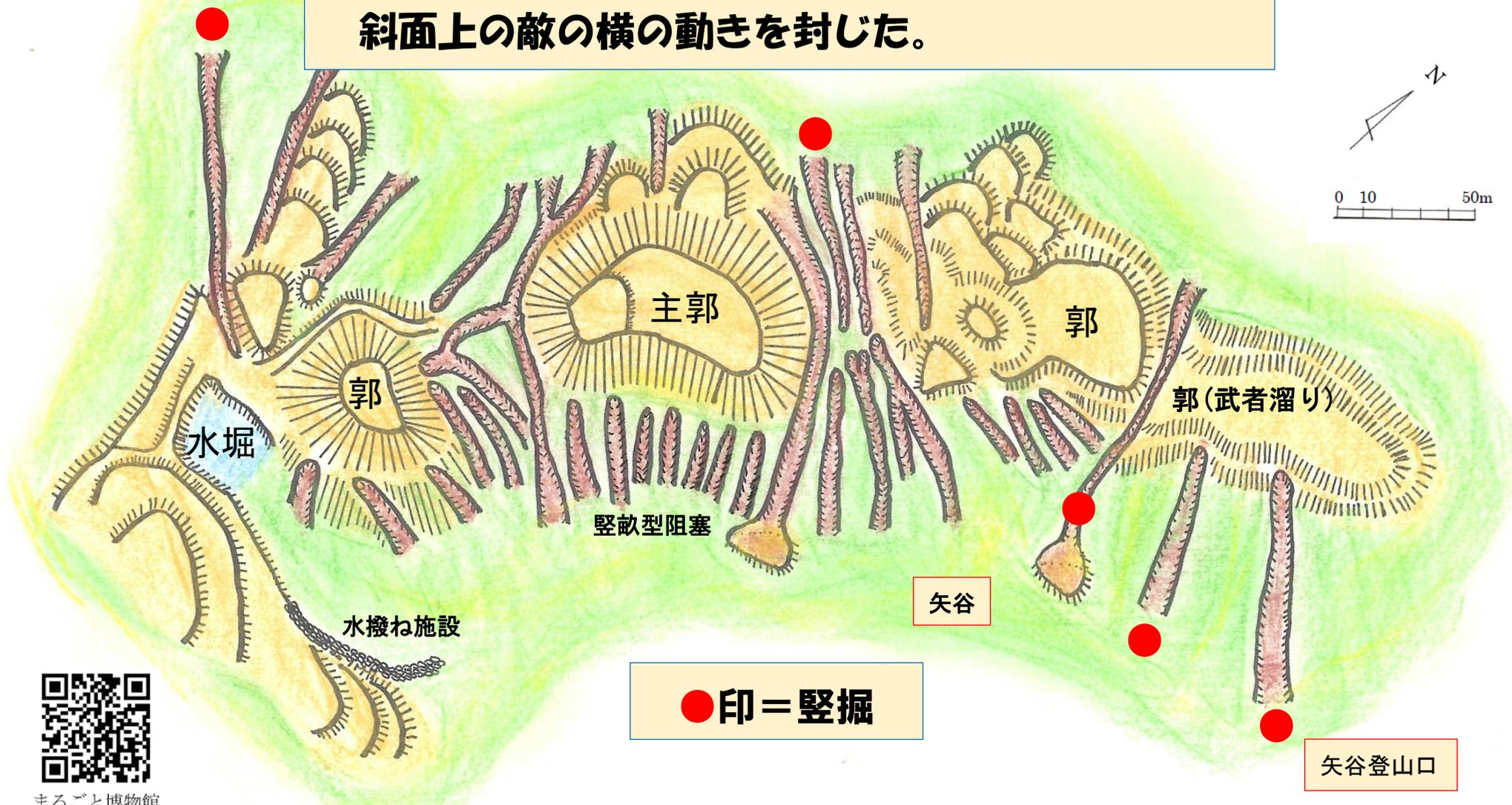
長田川左岸の矢谷登山口は有事の際は搦め手としても使用された施設で、外観からは登山口が判りにくい作りである。



2

豎堀

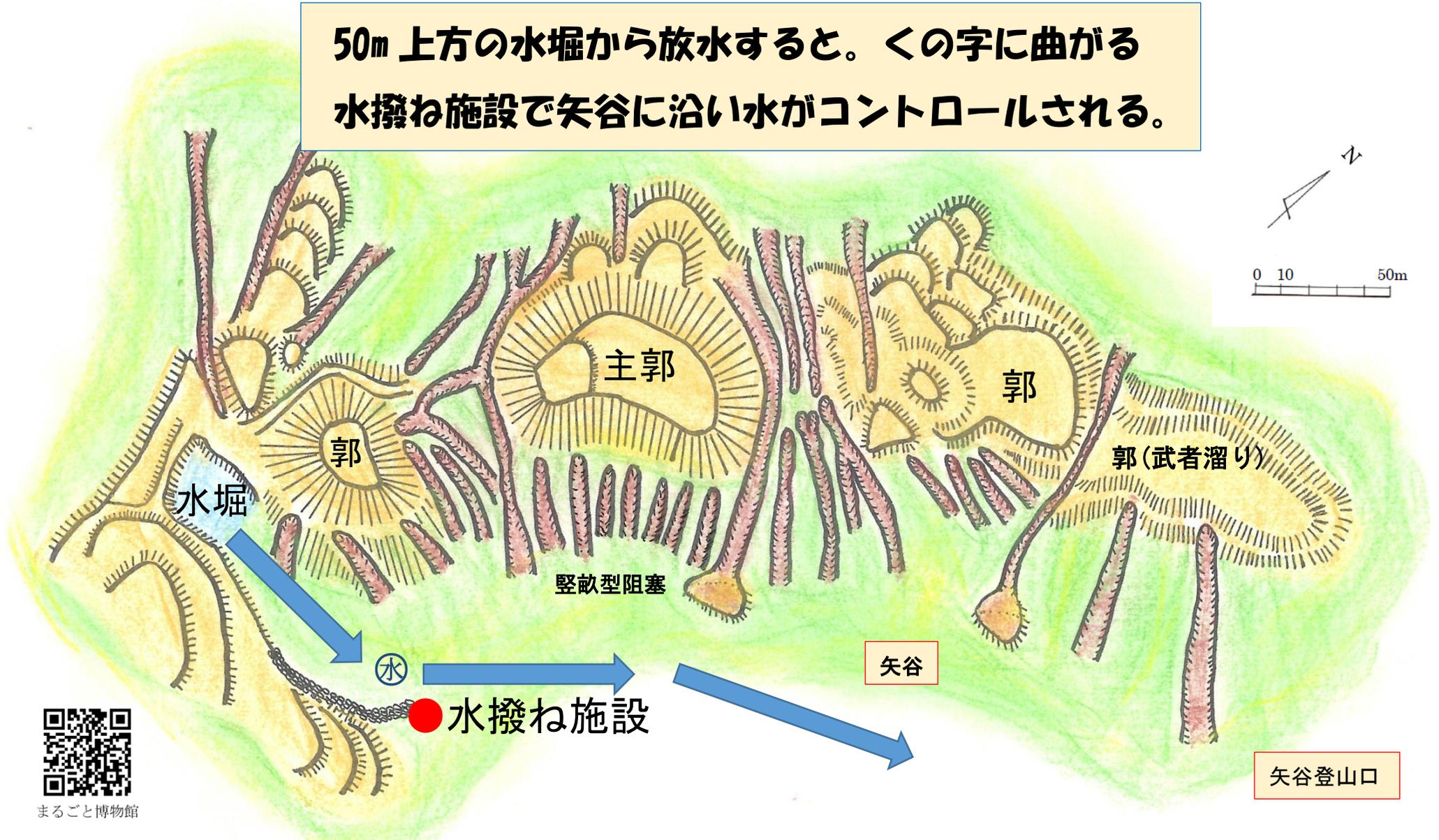
山の斜面に等高線と直角に彫られた空堀。
斜面上の敵の横の動きを封じた。



4

水撥ね施設

50m 上方の水堀から放水すると。くの字に曲がる
水撥ね施設で矢谷に沿い水がコントロールされる。



5

水堀施設

大井谷からの軍用水路で水を湛えた堀。古くは豪と書いた。
水の手のある城郭は希少である。



8

武者溜り

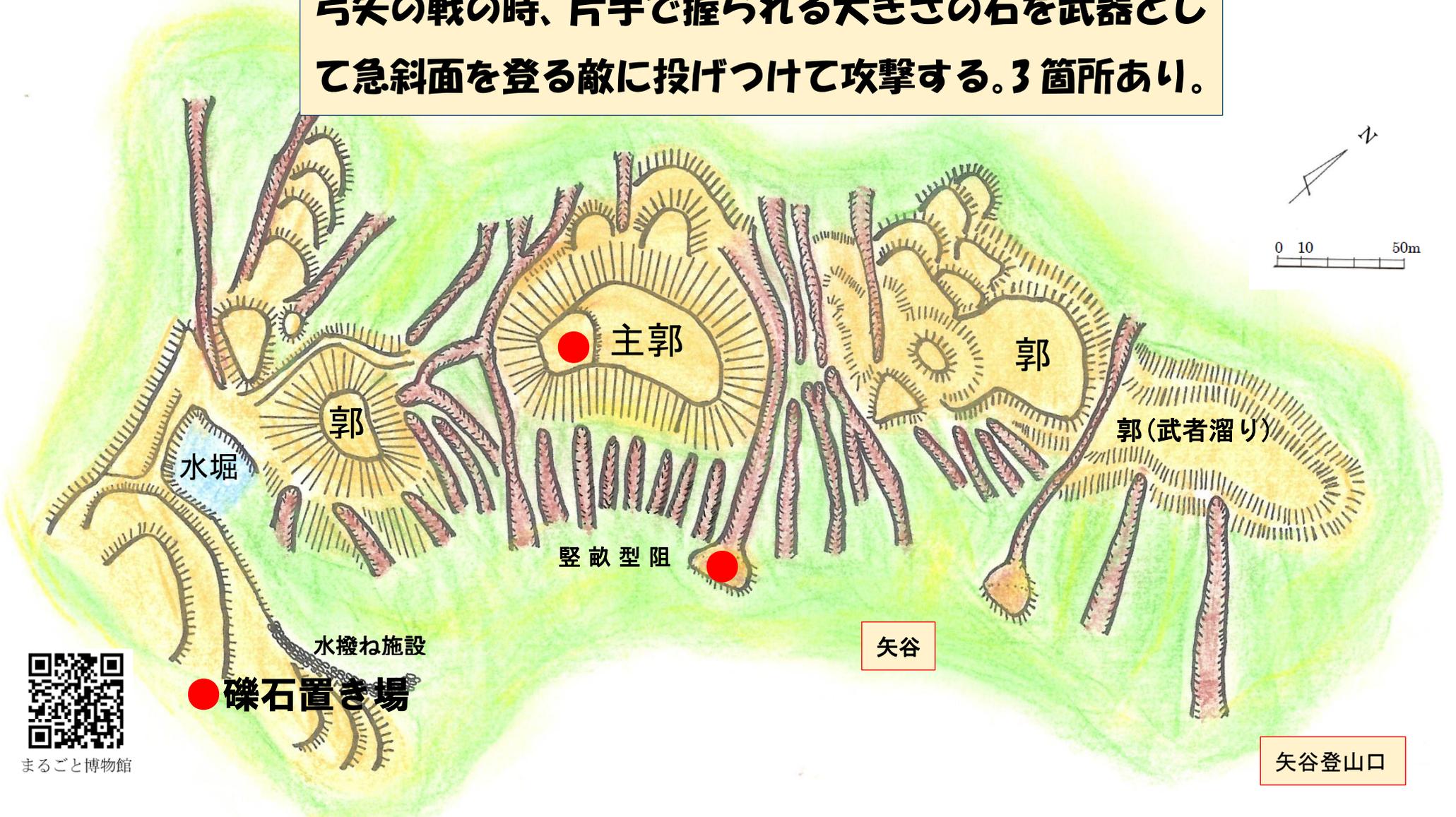
城内に入った敵に対して、敵に気づかれぬよう
伏兵をひかえさせて、事に備えるための郭。



9

つ ぶ て い し お き ば
礫石置き場

弓矢の戦の時、片手で握られる大きさの石を武器として急斜面を登る敵に投げつけて攻撃する。3箇所あり。



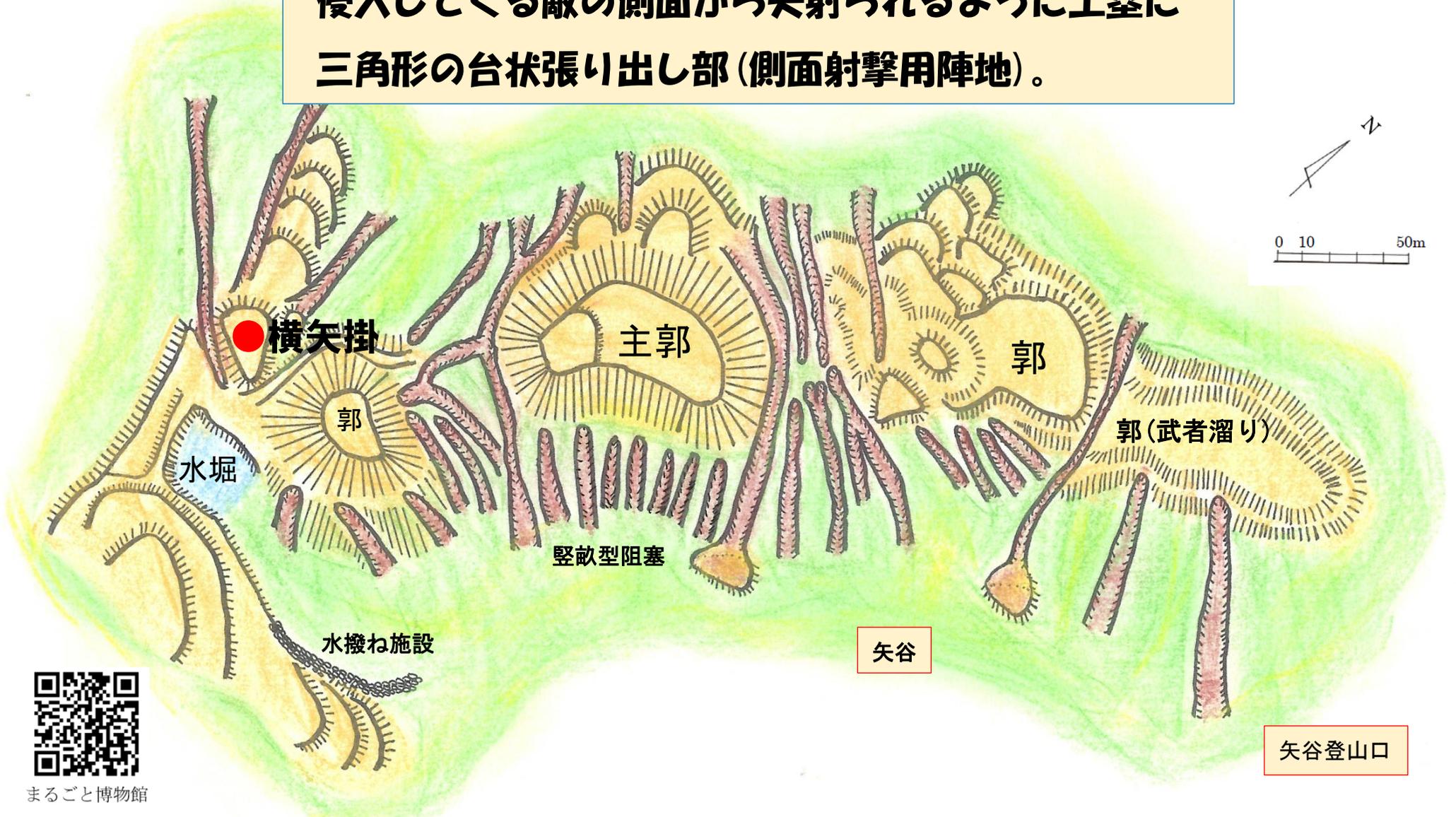
矢谷登山口

10

よこやがけ

横矢掛

侵入してくる敵の側面から矢射られるように土塁に
三角形の台状張り出し部(側面射撃用陣地)。

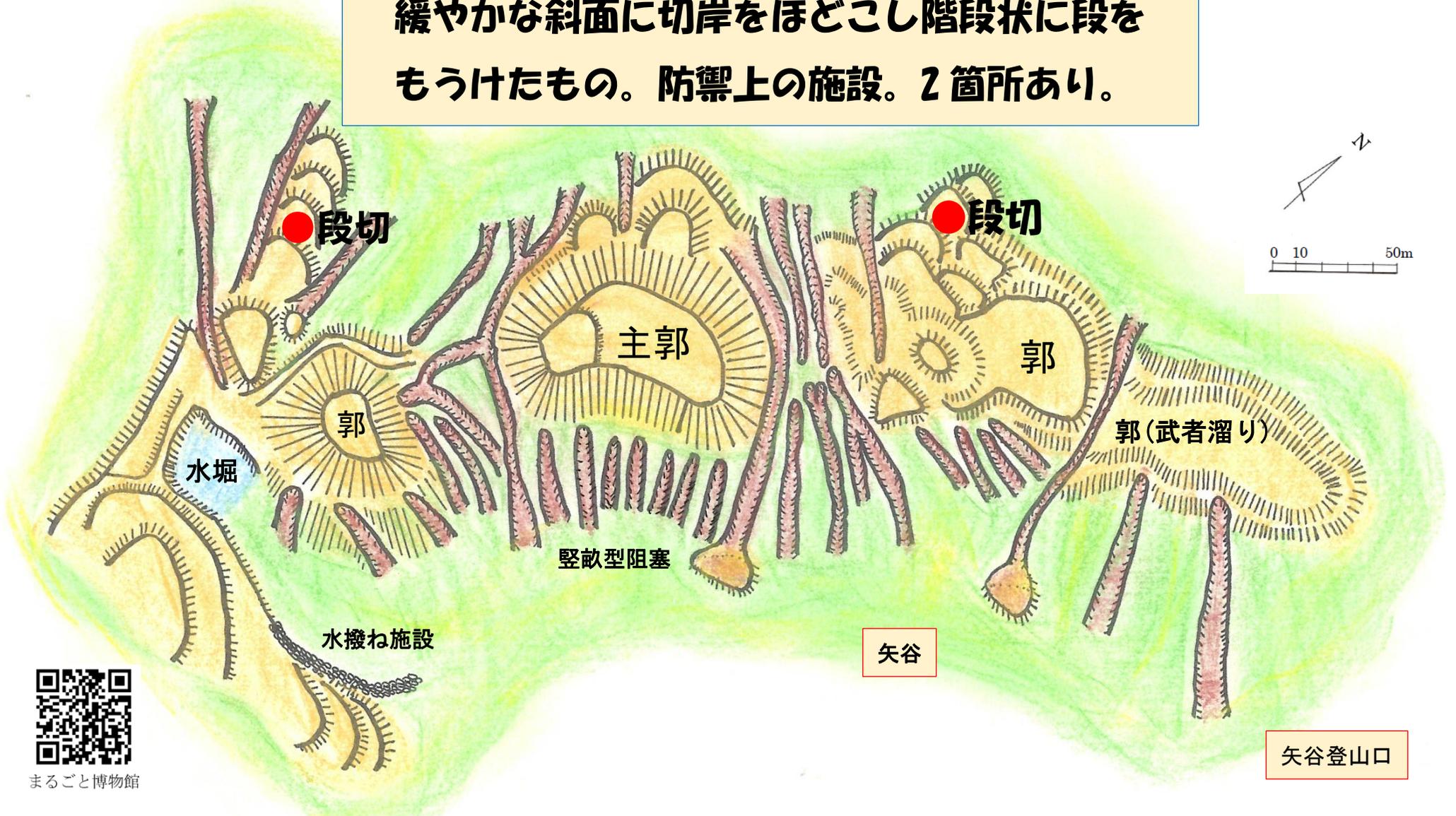


11

だんぎり

段切

緩やかな斜面に切岸をほどこし階段状に段を
もうけたもの。防禦上の施設。2箇所あり。



豎畝型阻塞

主郭など重要施設に併設される豎堀で、横移動をさせない施設。
主郭の東面が湾曲しており防禦上のが絞り易い施設。

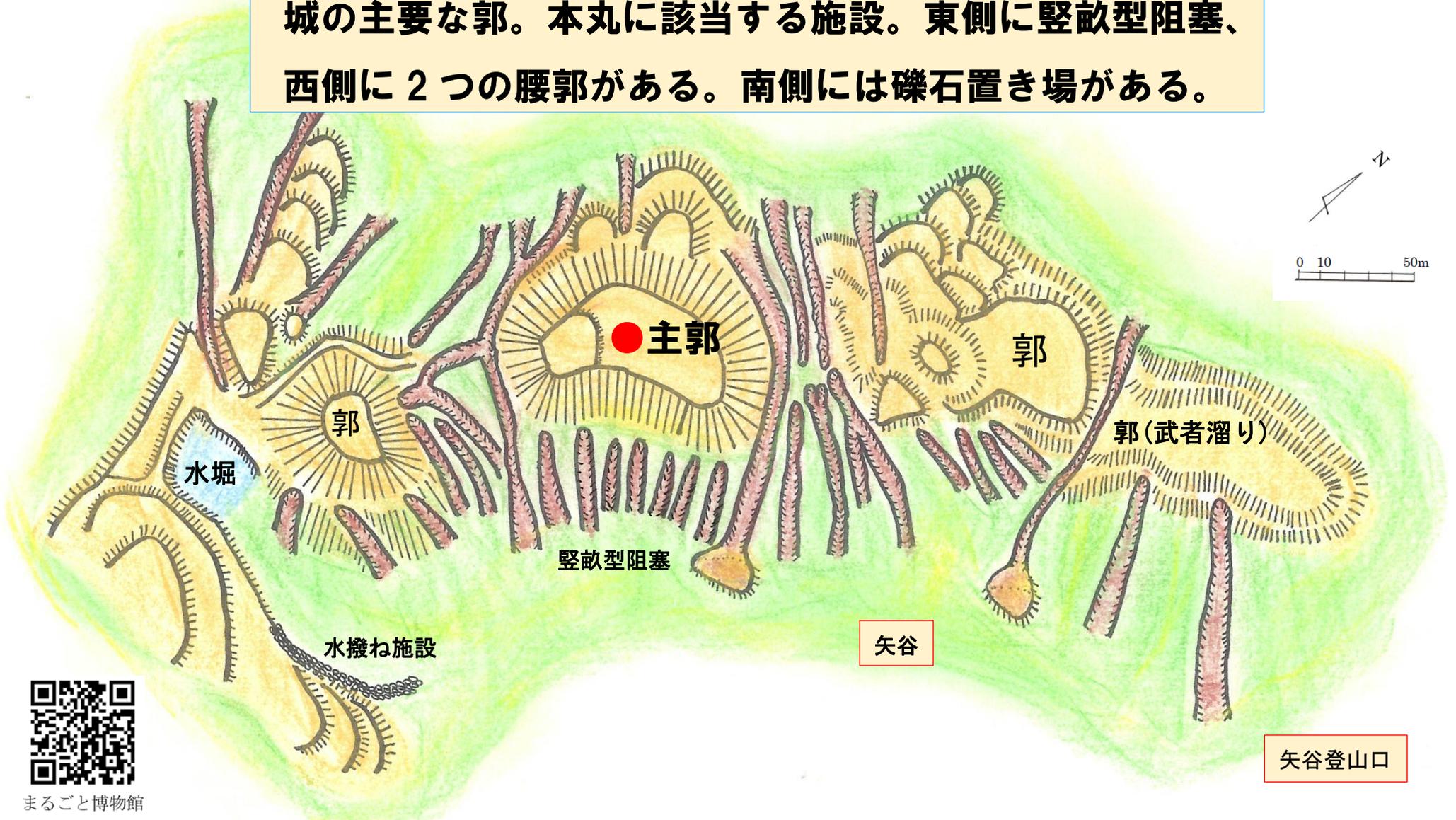


16

しゅかく

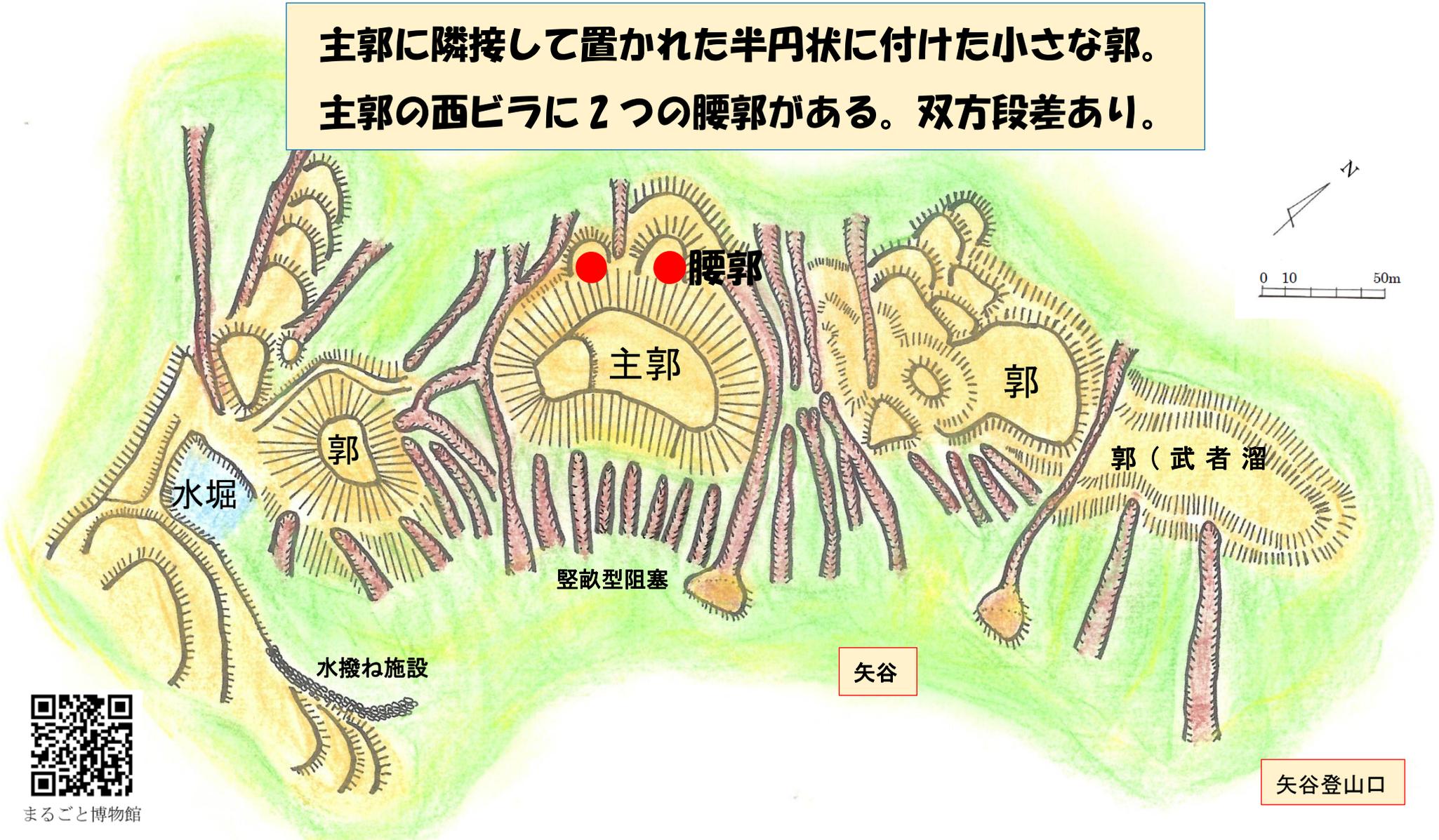
主郭

城の主要な郭。本丸に該当する施設。東側に豎畝型阻塞、西側に2つの腰郭がある。南側には礫石置き場がある。



腰郭

主郭に隣接して置かれた半円状に付けた小さな郭。
主郭の西ビラに2つの腰郭がある。双方段差あり。



畝堀

空堀の底に畝状の凸凹をつけ、掘底を歩くのを困難にした堀。
箱堀、土橋の施設もある。鉄砲の時代に対応した空堀もある。

